

平成30年度とっとり考古学フォーラム

# 古代のインフラを

# 支えた土木技術

現代の目で  
古代の**土木技術**をひもとく!

靑谷横木遺跡で見つかった古代山陰道

## プログラム

12:30	受付開始
13:00 ┆ 13:05	開 会
13:05 ┆ 13:30	事例報告 「新発見!とっどりの土木技術」 鳥取県埋蔵文化財センター文化財主事 坂本 嘉和
13:30 ┆ 14:30	講演 「発掘調査からみた土木技術」 大阪府立狭山池博物館長 工楽 善通氏
14:30 ┆ 14:40	休 憩
14:40 ┆ 16:00	パネルディスカッション パネリスト ●工楽 善通氏 ●藤村 尚氏 (鳥取大学名誉教授) ●北瀬 弘康氏 (国土交通省中国地方整備局鳥取河川国道事務所長) ●坂本 嘉和
16:00	閉 会

会場

とっとりぎん文化会館 第1会議室

日時

12月2日(日)

午後1時～午後4時

参加無料  
申し込み不要

古代山陰道に用いられた、朝鮮半島伝来の「敷葉・敷粗朶工法」。杭と横木によって何重にもつくられた護岸や国内最古の土のう積み。近年行われた鳥取西道路の発掘調査では、古代の土木技術を解明するうえで重要な成果が数多く得られました。

古代人は、いかにインフラを整備したのか?また、人々はいかに自然と向き合い、災害を克服してきたのか?

考古学フォーラムでは、最新の発掘成果や土木工学の視点から「古代の土木技術」に迫ります。

主催 鳥取県埋蔵文化財センター

# 講師・パネリスト プロフィール

くらく よし ゆき  
**工楽 善通**

大阪府立狭山池博物館長



明治大学大学院修士課程史学専攻修了。奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センター所長等を歴任。専門は日本考古学で、稲作や水利施設などの土木技術に造詣が深い。

【主な著書】

- ・『水田の考古学』  
東京大学出版会 1991
- ・『土木考古学の推進』  
『季刊考古学』102 雄山閣 2008
- ・『灌漑農耕の始まりと拡がり』  
『アジアの考古学3 農耕の起源と拡散』高志書院 2017

ふじ むら ひまし  
**藤村 尚**

鳥取大学名誉教授



京都府立大学卒。工学博士。土工学及び地盤工学が専門。鳥取県防災顧問、鳥取県地震防災調査研究委員会委員等を歴任。青谷横木遺跡など遺跡の発掘調査でも指導や助言を行う。2017年、防災功労者防災担当大臣表彰を受賞。

【主な著書】

- ・『'96鳥取地盤図』  
(社)地盤工学会中国支部1996
- ・『地震による地盤災害』  
(社)地盤工学会中国支部講習会テキスト2000

きた ま ひろ みち  
**北澗 弘康**

国土交通省中国地方整備局  
鳥取河川国道事務所長



大阪市立大学大学院工学研究科修了。

国土交通省中国地方整備局道路部道路計画課長、道路局道路管理課長補佐、

内閣官房日本経済再生総合事務局参事官補佐を経て、2017年より現職。

山陰道「鳥取西道路」の建設に携わる。

さか もと よし かず  
**坂本 嘉和**

鳥取県埋蔵文化財センター  
文化財主事



静岡大学卒。青谷上寺地遺跡や青谷横木遺跡などの発掘調査に従事。青谷横木遺跡では古代山陰道の調査に携わり、国内初となる柳の街路樹や国宝高松塚古墳壁画に次ぐ国内2例目となる「女子群像」板絵を発見。現在、古代山陰道の調査研究を精力的に進める。

【主な論文】

- ・「青谷横木遺跡の道路遺構と条里地割」  
『条里制・古代都市研究』第33号 2018
- ・「伯耆における古代・中世の鉄生産」  
『たたら研究』第55号 2016

## 会場へのアクセス

### 徒歩で

JR鳥取駅から若桜街道を県庁方面へ約20分。

### バスで

#### ●路線バス

鳥取バスターミナルから  
湖山・鳥大線、賀露線など

「県庁日赤前」バス停(所要時間約5分)下車すぐ

#### ●循環バス「くる梨」

鳥取バスターミナルから運行  
赤コース、青コース、緑コースとも

「とりぎん文化会館」バス停(所要時間約15分)下車すぐ

### 駐車場について

とりぎん文化会館の駐車場が利用できます。  
満車の場合は、鳥取県庁構内などをご利用ください。



### ■お問い合わせ先

**鳥取県埋蔵文化財センター**  
〒680-0151 鳥取市国府町宮下1260

電話 0857-27-6711 ファクシミリ 0857-27-6712  
ホームページ <https://www.pref.tottori.lg.jp/maibun/>  
Facebook <https://www.facebook.com/tottorimaibun>